

『認知症サポーター』、『認知症サポーター養成講座』について

「認知症を知り地域をつくるキャンペーン」の一環として、「認知症サポーターキャラバン」事業を実施しています。「認知症サポーターキャラバン」は、「認知症サポーター」を全国で養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者です。認知症サポーター養成講座は、地域住民、金融機関やスーパーマーケットの従業員、小・中・高等学校の生徒など様々な方に受講いただいております。全国に約634万人の認知症サポーターが誕生しています。（平成27年6月末現在）

＜認知症サポーターに期待されること＞

1. 認知症に対して正しく理解し、偏見をもたない。
2. 認知症の人や家族に対して温かい目で見守る。
3. 近隣の認知症の人や家族に対して、自分なりにできる簡単なことから実践する。
4. 地域でできることを探し、相互扶助・協力・連携、ネットワークをつくる。
5. まちづくりを担う地域のリーダーとして活躍する。

※厚生労働省ホームページより引用

ひたちなか市でも平成19年より「認知症サポーター養成講座」を開催し、2,107人の認知症サポーターを養成しています。（平成27年6月末現在）

「認知症サポーター養成講座」の受講対象者は、

＜住民＞自治会、高齢者クラブ、民生委員、家族会、防災・防犯組織等

＜職域＞企業、銀行等金融機関、消防、警察、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、宅配業、公共交通機関等

＜学校＞小中高等学校、教職員、PTA等 　　などです。

10人程度の受講希望者が集まり、会場をご用意していただければ講座を開催することができます。講師については地域包括支援センターや在宅介護支援センターの職員、グループホームの職員等で、研修を受けた「キャラバンメイト」を紹介します。報酬は無料です。

講座では、DVDやテキスト、資料などで認知症を理解し、支援方法や心構えなどについて90分程度お話し、修了後にサポーターの証として「オレンジリング」というブレスレットをお渡しします。

このように「認知症サポーター養成講座」は地域や企業、学校など多くの場所や機会を通じて開催され、年齢を問わず「認知症サポーター」を養成しています。

ぜひ、認知症について理解したい方やその家族を温かく見守り支援したい方など、地域や職場などを通じて「認知症サポーター養成講座」を受講してみませんか。

お気軽にお問合せください。

【問合せ先】ひたちなか市福祉部福祉事務所高齢福祉課

〒312-8501 　ひたちなか市東石川2丁目10番1号

TEL：273-0111（内線7233）　　FAX：354-6467

Eメール：korei@city.hitachinaka.l (I) g.jp